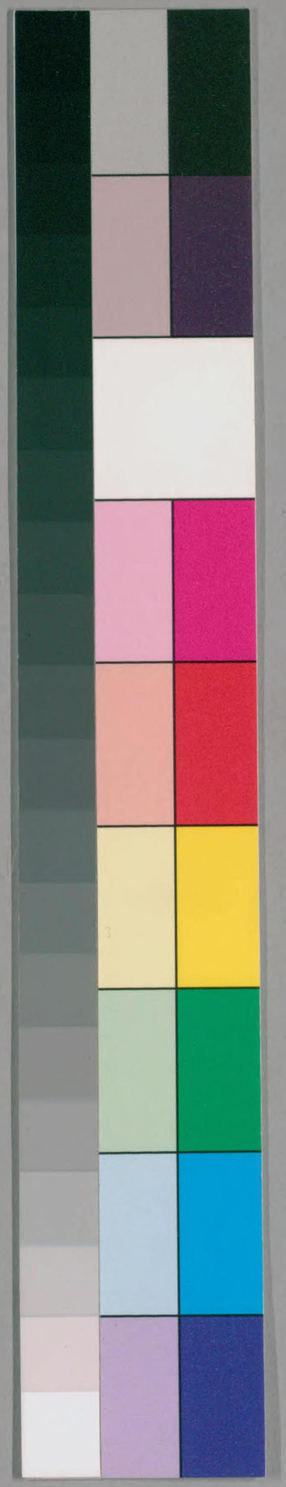
特1
2152

阿蘭陀焼酒水薬口授

上

雙松菴藏脊

他見不許



国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152

ガラス使用

紅毛燒酒水菜口授

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152

ガラス使用

紅毛焼酒水薬製秘伝口授

六冊之内

目録

焼酎薬 初ウ
○ヲハリヨムヲリハアヌム 仝ウ
ハルサムヘルヲラアルム 仝ウ
ハルサムヒイメア 三ヲ
○ハルサムコツハイハアヌム 仝ウ
○カンフルブランドウエシ 仝ウ
○テンキテヲルテリヤアカ 仝ウ

阿蘭陀流秘傳 上

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』 請求記号 特1-2152

ガラス使用

特1-2152

○テンキテアルメラ　四ヲ
○テンキテアルシユリシイ　ハヲ
○テンキテアルアヘレミイ　今ウ
○テンキテアルアロエス　五ヲ
○テンキテアルコロウシイ　今ウ
○アクワスイルテス　今ウ
○アクワセルウサ　六ヲ
○アクワメリクウリス　今ヲ
○アクワヒッテルヨウルシ　七ヲ

○ラフメント　七ヲ
○スヒルテスエステン　ハヲ
○アケヒヤコシ　今ウ
○ホ方　今ウ
○テンキテアルラフメント　今ウ
○ホ方　今ウ

○附録
○阿蘭陀茶酒之法
○肉桂酒方　十ニウ
○松実酒方　十ヲ
○水薬秘傳製法　十ヲ
○紅モトヨシ文ル秘法
○又方
○鉛粉　今ウ

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

桃花　十八ヲ
ロツフトウリヨン　今ウ
千屋羊煉法　十七ウ
アリスキ焼法　十八ヲ
ヘレシヒメアル焼法　今ウ
當流接疔敷大秘法　九ヲ

外科粉茶秘傳雜記

黄胃散　二十一ヲ
白雲散　今ウ
ヘリアスシテリイサ　二十二ヲ
焼灸散　今ウ
金花散　二十三ヲ
緑黄散　今ヲ
接毒散　今ウ
酒黒散　二十四ヲ
薫茶　今ウ
下疳付茶　今ウ
傷穴大治方　今ウ
癤疽方　今ウ
雞舌膏　今ウ
細連散　今ヲ
仙茅茶　今ウ
乳香散　今ウ
消毒散　今ヲ
萬能散　今ウ
疥癬茶　二十五ヲ
漆コケ　今ウ
水癬方　二十六ヲ
癜解散　今ヲ

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

白禿散　二十七ウ
清山散　全ウ
滑喉散　全ヲ
桃花散　全ウ
イケ核菜　二十七ヲ
淋病妙菜　全ヲ
疥癬散　全ウ
咽膿ヲ吹菜　二十八ヲ
佐条家阿以醋方　全ウ
乳通散　全ウ
千金散　三十六ヲ
鼻血散　全ヲ
疣痣厭核方　全ウ
治痔方　全ヲ
大黄散　全ウ
白黒散　全ウ
阿以醋方　全ヲ
乳不出菜　三九ヲ
口中妙方　全ヲ
大楊散　全ウ
蒲黄散　三十ヲ
核竹木刺　全ヲ
核竹木簽刺　全ウ
疥疮妙菜　全ウ
治體気　三十二ヲ
治疥疮　全ウ
妙気散　全ヲ
治淋病　全ウ
輿骨咽ヶ之時　全ヲ
イボ落方　全ヲ
霜焼菜　全ウ
菜灸方　全ウ
青黛散　全ヲ
亦方　全ウ

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

○治癬瘡　三十三ヲ
○瘤癭ヌキ菜　全ヲ
○田虫妙菜　全ウ
○喉脾菜　三十三ヲ
○亦方　全ヲ
○亦方　全ヲ
○紅毛血止菜　全ウ
　　　　　　　　　　司錄終

○蛍毒菜　全ヲ
○血止紙　全ヲ
○一方血止　全ヲ
○亦方　全ヲ
○亦方　全ウ

○紅毛燒酒水菜書口藩

蛍蜊　四十八日
香油　百九十二ヲ
燒酎　三十二ヲ

右蛍蜊ヲ燒酎ニ浸シ能ク洗ヒ油ニ入水氣去盡煉也

主治節骨ノ痛ヲ和ケ手足痺レ引ツルニ吉能ク節ヲ延又鷄子黄一ツニ麥油八ヲ交合ホツシ付疼ニ付テ大効

○ヨリヨムヨリハヲヌム

玉乳香　廿四粍
茨花油　九十二粍
焼酎　十六粍
右三味能攻合水氣去迫煉ル也
主治筋骨痺急ニ吉
○
ハルサムヘル子ラヲルム
乙切草油　粍
没薬　粍
酒　六粍
乳香　六粍

テレメンテイナ　三十六粍
ホルトカルノ油　三十二粍
性温右調乙切草油酒ヲ入水氣去迫
微火ニテ煉リ醒際ニ餘薬ヲ未メ入文
合セ澄シ置上澄ヲ用
○
功朩身專ラ金瘡ニ用血ヲ止
ハルサムニイタヲ　八粍
ヲヽリヨテレメンテイナ
穐、椒　五粍
名酸ホウ子スヘ子タ　一粍

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

白殭蚕　七分　五星
右能々丈合用
切治脚氣濕氣ノ痛其外諸ノ疼物痛
ニ吉歩角
○
ハルサムコツハイハアヲム
沒藥　六粟
乳香　同
松脂　十六粟
枳殼　八粟
乙切草　四十八粟

調法煉合用
切金瘡第一ノ要藥也
小使閉ニハ白湯ニテ二三四滴用
○カニフルブラシドウヲシ
一本ニ金瘡流藥用時
七合丈合使也
亦サルベルサ四粟加使神妙也
燒油　百四十四粟
樟腦　十二粟一方紅花苗粟
右陶器ニ入口ヲシメ粟日ニ晒テ十五日

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

切跌撲不破痛ニ小キ手拭ニヒタシ能揉合
又痲痺ノ膚肉ヲ上ル末綿ノホツモニ付テ
貼又痲痺愈ヲ欲ル寸ニモ付ル也

○
テンキテヲルテリヤアカ
燒酒　九十六麥
テリアヽカ　十二麥
牡徽温
右調様同前

○
切鬱氣開キ毒虫ニサシタルニハホツモニ浸ヲ痺ノ上ニ置其上ニ燒針ヲ
アテヽ良或ハ身ニモ染ル也或指杯其外膏ヲ
愈メ瘡ニ良

○
テンキテヲルメウ
燒酒　九十六麥
没薬　十二麥
調法同前

○
牡徽温
切治金瘡ハ痺ニ專吉去膚肉生新肉
諸瞳物愈方ニ付テ良骨節疼痛ニ吉

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

燒酒　九十六匁
琥珀　十六匁
調法同前
功治金瘡之古

○テレキテヲルヲヘレミイ

燒酒　百六十八匁
乙切草花　三十二匁

右調法乙切草花半開ヲ取花ヲ摘タヲ燒酒ニ漬置精氣ヲ呼取也
功治手足痛或ハ瘡ニ付テ良痛所ニハ木綿
浸シ卷置也膏節疼痛ニ付テ良耳朶腫レ或ハ耳ノ内鳴リ痛ニ水突ニテ或良
鼠莫ニ引テ良

○テンキテヲルヲロヲス

燒酒　七十二匁
芦薈　十二匁

右調様芦薈未メ燒酒ニ漬置天日ニテ
精氣呼取十リ
功治小使ヲ能通ス耳ニ
入テ良惣テ虫ヲ殺

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

○テレキテヲヨルコロウモイ
焼酒　百六十二妛
紅花　三十二妛
右調様同前
切治血熱ヲ醒シ無名腫物ノ熱強キニ木
綿ニ浸シ巻置ケハサムル也
○アンクワスイルテス
アンクワカルシス　十六妛
焼酒　四妛
右能々二味交合置也
性冷
切治使毒初発ニ木綿ニ浸シ巻置也忽腫
ヲ散ス或焼傷ニ吉麻油ニ浸シ巻置也
○アンクワセルコウサ
白灰水　十六妛
唐土　四妛
右二味能摺合使
切焼所膏薬カブレ漆マケニ浸シ爽ノ上ニ置能燥ス也
○アンクワメリクコウリス

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

ソツこルマアト 五分
白灰水 百五十匁
右上ニ石灰一斤ニ水二升
ヲ入カキマセ上ノ清ミヲ
内ニフラスコヘ移シロラス真水氷ノ如ク成タ
ル時ソツこルラ入カキマセ風ノ入ラヌヨウニ置
牲冷
切治田虫白禿類ヲ洗而吉詰瞳物ノ臭氣
ヲ洗テ良正肉ノ若肉上過則末綿ホツシ浸
良赤痛ミアルニテリアアヽカ少鶏卵少合交
細末

一切膏薬ニテ不愈ヲ度ニヨシ
○アヽクワこツテルヨウルヒ
白灰水 二百四十匁
丹礬 十二匁
右丹礬焼交ニ極末メアヽクワニ入シ用
切小瘡ノ爛抔ニ吉能乾ス真外効アヽクワ
スイルスニ同
○うつまこト
焼酒 四十八匁
茨蜜 三匁

七

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

芦薈　一味
浸葉　一味
右四味茨蜜芦薈皆浸葉ヤケシテ焼酒ヲ
加成泥殘ル焼酒ヲ入能細ニスリ器ニ入置
用余倣之
切治諸瞳物ノ去斎前洗葉赤小兒ノ水
瘡ニ付テ能乾ス

○赤方

水　一升　明礬　十八匁
紅花　三匁　樒金　二匁

右水ヲ能煮三味入フタヲシモテ置
切治カブレ水瘡ニヨシ

○スヒルテスエスニテム

焼酒　八十匁　枯礬
右能摺支使用ル時少温テ使
切諸瞳物有毒氣熱甚キニ洗テヨシ但シ口不
開時ハ木綿ニ浸シ貼スヽ或ハ
○テシキテヲルラフメシト　焔硝毒ニ當ラハ

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

明礬　一匁　　沒藥　一匁
蜜　八匁　　燒酒　三十二匁

○又ケニモヤコレ　四匁
右盧薈沒藥合能細末又合也
切治諸惡瘡強者宜多度用ノ瞳物如ヶ
引位温洗亦下疳瘡毒温熱強者糸ニ
テ貼而良

○赤方
芎藭　　沒藥　各一匁
蜜　八匁　　エケビ　四匁

燒酒　三十二匁
右洗某一切惡氣強キ瞳物口中之爛匂論
瞳物者洗也惣而惡鋪ヲ去テ清スル也
亦能有膜中於熱若口中疳者度ニ含去
也若虫歯氣歯冷疼痛樟腦少加能又合
温合之小兒同用良亦能走馬疳ニ守
吉若下疳瘡使毒之洗疳瘡肉而良亦雁瘡
頸若手撲摺ハギ痛爛皆洗之可也洗物
則少加水可然

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』 請求記号 特1-2152
ガラス使用

附録

○阿蘭陀薬酒方

焼酒　肉桂
砂仁　良薑
肉豆ク　干薑
フシカシノ木實　大茴香
肉豆ク花　茨花
小茴香
ホウリロウスマレイル各四匁
山チ房葉　麻ノ葉　各二十枚

九十枚

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

石ナ四味細ニ剉焼酒ニ浸置ノ一宿ヒテ蘭
茎ニ入煎出ス
紫相　　白檀
广香　　鯨鬚
沉香三葉　　耳草
矢六味未ヒメ右ノ煎汁ニ和ヒ合二時程過
テ潔浄ノ砂糖見合入欖ノ匂
切能
陰痘発皆不瞳不痛不痛不熟不作膿及一切
皮色不変漫瞳無顚者痛ノ上下ニ隨テ
食前後ニ服スヘシ変陰為陽ノ効有
瘡痘諸瘍已ニ膿水出ルヲ多ヒテ氣血共
ニ虚ヒ皮膚贏瘦面色青冷及男婦ノ
諸氣疼療共ニ用之テ氣血ヲ陰陽ヲ
調和ヒ飲食ヲ進
風湿漫瞳痛風鶴膝ニ
服スヘシ或ハ跌撲墜下敗血凝滞或ハ瘀血
注腫二使閉塞腫中刺痛ニミイラノ末ヲ
欖白空腹ニ用ヘシナリ
諸瘡癤爛テ膿汁不止ニ用テ洗ヘシ或ハ膿

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

瘡ノ瘡疥ノ癬痒風邪鵝掌風並ニ擦之
一切毒虫螫痛ニ塗之或ハ湯火傷ニハ塗テ
火ニ乾シ愈
中風半身不遂口眼喎斜手足麻痺筋攣
骨痛及寒湿脚氣痛白ニ服之亦油
葉ヲ加味ノ外ノ悪ル所ニモ塗付ヨ
中風中寒中暑乾霍心腹急痛四肢厥冷
拘攣強直口噤失音息絶セントスルニ急ニ
口ヲ開テ流入或ハ手足冷ル所ト心腹痛所
ニヌルナリ

中悪尸厥卒ニ手足厥冷シ叫虐如粟起リ
頸面青黒精神不守言語錯乱皆人ヲ
不知頸疑暈倒息ヲ死セントスルニ服之メ
急ヲ通

癲癇搐搦卒倒及心氣不足驚悸恐怖
悲憂惨慼虚煩不瞑或ハ健忘ノ病ニ止ノ
完眼又氣血ヲ補益シ神ヲ安シ心ヲ鎮痰ヲ
化ス

虚労寒多熱ノヲ或ハ毎発ニ有虫瘧痛ヌ
ヲ虫霍ト云ヒ発日ノ五更ニ東面メ拝ヲ

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

十七一碗ヲ服メ忌ヲ下モテ頻ニ治又
胎前產後子宮久ク冷赤白帶下及經水
不調不受胎孕或ハ氣血塊ニ常ニ仆
宛用之

○肉桂酒方

燒酒一斤一方一斗　肉桂一斤半
白砂糖　見合

右肉桂未ト十ニ燒酒濱置テ一夜ニメ蘭麥ニ
入蒸ニ出テ砂糖ヲ入攪白
切能

風寒濕作膿者及肌肉冷痺四肢冷痛節
痛ノ症ニ或ハ服ニ或擦ケ身未破者
テ能止痛消膿順血服
ケ身未破者ハ必ス癒血有テ膿ヲ膿
張痛又重キ者ハ敗血坂上テ足冷頭目疑
頭卒倒セハ急ニ冷水ヲ用テ口ニ灌入吹ニ童
便半加テ服之又ヘニ無不効
暇胃冷寒飲食不化腹痛及臟胃ノ濕毒下
利並ニ服之ヘニ効也
心氣不足ニ因テ胸滿氣短ク或ハ驚悸怔忡

十三

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

面色蔫黄及飲食日ニ減スル者ハ少完常ニ
用之テ心氣ヲ益神志ヲ定且暖胃進食

○松實酒方

燒酒一斗
ソナシ松實五合
白砂糖見合
右松實搗碎燒酒ニ浸置ク一日一夜ニメ蘭
茶ニ入煎シ出テ砂糖ヲ入攪勻
功能
胸膈痞悶悪心呕噦及呑酸暖噎翻胃心
腹紋痛苦ニ因リ中ノ虚寒及飲食積シ
テ湿熱ヲ生シ或ハ七情ノ大過火動クニヨル
者並ニ服之ヘシ

虫積ニ依テ胸支不食シ顔色青瘦手足
無力心腹刺痛世俗蛔咬ヲ蛔虫ト云木方ノ中
砂唐ヲ減テ毎ニ臨卧ニ一盃ヲ服テ終ニ治之並
ニ婦人ノ血積血堰経閉ニ少完用テ良

虚寒ノ小便不通者並ニ寒結ト云即一盃ヲ
服メ立ニ通又或ハ冷淋如膏或ハ莖中刺痛ニ
汁石ノ如出ニハ琥珀ノ未ヲ少計攪勻服之

十四

○水菓口傳ノ製法

紅毛トヨベル秘法

水　百七十匁　　蜜　三匁　メルリス

ソツヒル　五重ヨリ一分迄見合

右乳鉢ニテソツヒル摺リテ調合

○又方

ワアートル　百二十匁

ソツヒルマートメリクユス　ナルリス　八匁

十五

○鉛板

酢　燒酒　石灰

明礬　末分各

右火熱沸鉛ヲ火ニ掛湯ニテ右ノ葉湯ノ中ニ入レ暫ク三時ヨリ燒酎ヲ付醒シテ板ニシテ用

○桃花ノ

桃花一斤　白砂糖一百目

右一度ニ器ニ入研末ニテ考モスリ桃花化スル時壺ニ入密封又毎服一匕ヲ通スルヲ度トス

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152

ガラス使用

ロツフトウリヨシ

紅毛カスハル傳

クヌキノ灰　一斗
カシノキ灰　一斗
石灰　五升
右百沸湯ニヒタシツケ六月ノ日ニテシ一日ニ三度宛カキマセ赤二日程乾其後滌シテ箱ヨリ一ト十日程シテ指サキニ点見テキリ〳〵トスル時ニイロニ入レ風ノイラヌ様ニメタクワヌ子ウシテ五七日後亦々滌シ取鍋ニ入レ煉ツメ焼物ニ入蓋ヲメ野置ヨヲ見スルトナカレ

功能瞳物身色ニメ平ニ瞳熱モ無シテ座膿タルハ冷ノ瞳物ニテ針ヲ嫌故ニ次ロツフトウリヨシヲ小豆粒程口開ケタキ所ニ付其上ニテヤハルマキ也一日ノ内ニ口開也其口塞カラセマシキ為ニセシヤアノトシ本ヲ口開タル程ニメサス也

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

○千屋牟煉法

鯨油 一斤　松脂 一斤

硫黄 百目

右油脂ヲ煎ジ解ジ解タル時ニ硫黄ヲ漆立テトレタル時ニ火ヲ去リ焼也口傳ニ松脂一斤酒五合ワカシ解ジテ後盥ニ水ヲ入中ヲ右入ル妛七度也

○アリスキ焼法

鉛 三妛

如此入物ニ入レ上ニ切蓋ヲシテ真中ニ穴ヲ開テ鉛ノ解タル時ニ水銀一妛入能解ジ暫置テ金箔ニテ絲々ニ攪妛レハ皆一灰トナル或ハ鉛ヲ解ジテ硫黄入テ焼モ亦一灰トナル也

スタルコトハツヨキト云フくハ

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

○ヘレニクアル焼法

信石一両　末米醋ニ浸ス七日ヲ

水銀壱目入能研和亦童子好醋ニタヽキ入口
ノ狭キ壺ニ入テ蓋シ土ヲ以堅慢火煆之
色不宜者加辰砂如右之焼取出シ見ニ色
紅ニ光アル者ヲ佳トス色悪者再ニ醋ヲ少
入テ煆スホスヘシ但シ家ノ内ニテ勿煆烟中
ノ毒ヲ為避ナリ

性冷

功治切腐肉生新肉止痛ヲ引上能燥有也

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

○當流秘傳大秘法

焔硝　五匁　丹礬　上同　塩　上同

水銀　十一匁ニ鉛五匁ニ水銀ナシ

右何モ未メ一ニメ土焼ノ茶水銀ナシ

ニカケ四味煮カタマルマテ焼ハ石ノ蓋茶碗ニ入先大鉢

モ土焼ノ大ナル鉢ヲ受テ伏タル茶碗ノ

四方ヲヨク堅ツメ葉氣ノ不泄様ニメ亦上

ニ灰ヲ練リ付ル支一ス下ノ受タル鉢ニ灰ヲ入焼加減ハ線香五六

本薫スル間也右下ノ受タル大鉢ノ外底ハ

鹽ニ水ヲ入テ置其水入ル事モ一寸モ掛ルヤウ見分不入ヤウニスル也如斯

テアル大鉢ノ内ヱ水ヲ受タル大鉢ノ外底ハ

ニテ焼ハ上茶碗ニ付タル葉自然ト針ノ如ク

細ク立下リテ下ノ受タル大鉢ニツク也是ヲ用

ル支

次葉焼時ハ山野人家ヲ離レタル所風ナキ

時ヲ考焼ニトスル時モ出灰ヲ入ルバカリニ傍ヘ

ヨル遠ク退テ傍ヘヨルヘカラス焼仕廻テ先

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152　ガラス使用

右ノ如ク除テ其マヽ置三時四時モ過テ後上下ノ茶碗ノ冷タル時一応ノ掃テ取也是ノ呑カ或ハ火氣ノ醒サルヲツカヽ傍ヘヨリ蓋ヲ開キ其葉氣ニ中ラル、時ハ即死ス

瘧ナトノ閑業見合ニ可有瘧疾時ハ梅干切治生皮ヲ膚ニナサレト欲スル時アボスニ交霜黄柏霜軽粉小三色ヲ廻リニ塗ルヨクニ疼ヲ膚リ膚ハガラヾ

外科粉葉秘傳雜記

○黄胆數

主治一切爛ヲ乾シ濕氣ヲ能去リ水瘡瘭毒ニ黄柏ニ家猪ノ胆ヲ捏ツフシ石ノ黄柏ニ三遍引黒色ニ成ル迄灸リ乾シ粉ニス

○ヘリフスニテリイナ

主治骨節疼痛或ハ腫物温數ニ用但シ乳ノ痛腫トスルニモ亀角諸支ニ同シヨク膿シ赤能數ス何ヤラ不知腫痛物ナドニ惣テヨシ

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

但シ多ク水綿亦ハ木ワシニテ付ル也

黄柏 百匁　丹三十匁　枯礬 廿匁

右細末ス合花水酢白湯ニテ煉右三品ノ内ニ
テ時々應煉水可ス

○白雲散

主治一切除肉毒氣カフレ水ニ良

枯礬 細末

○燒冷散

主治燒人或小兒一切ノ草瘡類枯礬ト
ス合又

右膏生細末

○金花散

綿紋大黄妙

右細末

○細連散

黄連 細末　細末

右木分

○綠黄散

主治一切熱瞳散又

黄柏　綠豆

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

右木分ハコヘノ汁煎茶ニテ付也

(ウ)仁加無志葉　川練子　ミニロ皮　桂心
右木分酒ニテ付ル妙也

○萩毒散　明ル　上同
丹ル四匁　肉桂　上同
丹明巴三色黒焼ニメ肉桂生ニテ末メ使也

○乳香散　己亥去度八剤
乳香　中　青袋　乳香小

阿仙葉小

蒲黄大

○耳草　小　朴樹　小ニ
砂糖或昆布砂糖三歩一加

○酒黒散
治瘡瘡餘毒
酒粕　黒三匁　山梔子　黒二匁
陳米黒一匁
右細末

○消毒散
芙蓉葉　陰干　丈山撒葉　上同
蓮葉　上同各木分

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

右何モ等分ニ用ヒ

○薫葉　肉桂ヶ

ガ子ヲ大　ソハコ中

右細末煮湯ニテ煉リ薫

○萬能散

主治湯火傷如神

飯黒焼十匁　黄柏五匁

鳥賊骨黄妙五匁　軽粉三匁

右細末和雞卵黙患所

○下疳付薬

軽粉三分　辰砂同上

霊天蓋六分

阿仙薬上同　○痔ノ薬イリコヲ霜ニメ分

右細末　ウ脱肛薬木賊ヲ黒焼メ分ヘシ赤カ

カ子ヲ以煉合柿ノ葉ヲ熱湯ニテ温

テ根ヘヒ

○疥癬ノ薬

大黄　蜂房

軽粉　硫黄各ホ分

右末メ胡ニ子油ニ米ノ酢大合テ煉付一七日ノ

内ニ愈ス

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152　ガラス使用

○傷風犬治方

マチシナ葵　鉄粉一葵
右三味ニ百霜少モ入細末大人ニ一葵小兒ニ
七八分何モ水ニカキ立一度ニ用半時キメ狂
ヲ発スル其後肢氣スル赤癒口ハ捨置而モ不苦
赤右真綿ニテ

○漆マケ方

蓼麦粉　黄栢
各ホ分酢ニテ付ルヘシ

○瘡瘍　薬

真黒焼　朱
右細末メ梅干肉ニテ付ルヘシ

○水瘡　方

黄栢一葵　耳草ホ
枚昆布黒焼　軽粉ホ
右真香油ニテ付也

○癪解散　治白癜風

硫黄一葵　且元二葵
右末泉酢ニ丈付妙也○一方玉味カタハミ。白物フシ粉大黄トノコ
雞吉膏

○蜜陀僧三葵
天花粉三葵

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

桂心半分　糯米五分

右四味細末ヲ温湯ニテ和貼

丁子一麦

(ウ)
白朮散

露蜂房黒焼

右細末ヲ胡ノ油ニテ煉リ付ル

(ウ)
乳通散　主治乳瞳ノ引薬

担通　　丈山椒各木分

右細末

○
清山散　主治萬引薬

寒水石二十麦　石膏十麦　黄柏十五麦

耳草二麦

細末

○
千金散　主治一切爛瘡瘍良

赤石脂十麦但右キヲ用　丹二麦半

右細末

○
膏嗅散　切咽ニイケ立ニ用

土用青黛耕ノ中ニ粒胡椒二ツ入黒焼ニシ

予細末

○
鼻血散　主治一切ノ血止鼻血走ルニ八筒ニ

ヲ臭ニ吹八重山吹ノ花ヲ陰ヲ三メ細末

○桃花散　切一切ノ血留ニ用

右一味、百日サラシ百目赤メ大黄八三十匁

水ニ入其汁　粘丸一匁

右大黄ノ汁ヲ以テ子リ日ニヲテ其後能細末

○疳癪厭按方

唐アク　右一味各十匁

右二味能摺合若シ堅クハアクニテ解立アザノ

上ニ付右ノ薬アザノ上ニヲ乾キ百時ハ薬ヲ

ノケアザヲホコソケ赤可付二三度モ右ノ如ク

付ル時ヲクヘシ二三日ニ按ル但毋少加テモ吉

○イケ按薬

蟷螂　陰干一匁

右ソク飯ニ捏合口ニ可付　松暗三分未

○治痔方　(少)脱疽秘薬蝸牛ヲ家ヲ捨身ヲヨクスリテ子ヤシ可付赤霜ニメスリタルニ合モ吉

蝸牛油　丁子　明丸各未分

右未メ煉合貼ニ捏入ル也

○麻痺妙薬

木瓜白根玉匁

菜白皮四匁　耳草三分

蟷螂三分但

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

ケラ虫ノ干三ツ
右細末メ三服ニ分ル也但一貼ニケラ虫一ツ宛

(ウ)
大黄散　切田虫ノ葉酢ヲ以煉リ付ル
和大黄九葉ヲ十葉
硫黄
右細末
○一方知母大黄末梅酢ニテ入リ付
葛粉　五葉

○疥癬散
雄黄　生胡十葉
槟榔子同　阿仙薬　五葉
○白黒散　苦辛同

附子　貝母　天南星
硫黄　和大黄　各十葉
右細末メ先ナマメノ上ノ古根ノ生薑ヲ以テ
ヨクスリテヲライ其跡ニ酢ニテ子リ付ル

○咽瞳タル吹薬
明礬焼テ　皂角刺　小吉ニ吉
紫胡　細辛
明礬一葉　南星各二葉
右細末竹管ニテ吹也　五倍子各一葉

○阿刄酢方

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

櫻ノ皮黒焼　　子サノ實イル
皂角刺黒焼ホトイル　　續斷
耳草　　無名異　各二匁五分　　乳香
羌活　　川芎　各二匁
右十味能々細末ヌ温酒ニテ酔程用一度
三分五分　　浸業

○佐々木家阿以酢方

川骨三兩土用取白水ニ洗陰干ニヌ香色ニ
　十ル
赤サヽケ二兩十六サヽケ皮ノキレルホトイル

百霜草五月一日ヨリ五日迄百草集ヌ五日朝
ノ露ヲ請ヌ霜ニ入ル四兩

㊇乳出サルニ吉

蜂房黒焼酒ニテケヽ
右麥食ノ取湯ニテ半貼程用

○口中妙方

真珠　　土焼黒焼　　且ル
大黄　　鹿角　　明ル
紅花　　卜チノ實
右木分細末ヌ管ニテ吹也　寒水石

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

○妙氣散　咽ニ魚ノ骨立タルニ用

ウノ鳥黒焼○一方菊花ノ根共ニ到霜ノ吹ヘシ是ヲ能末ノ茶一服程酢ニテ用

○大楊散　折身骨折タルニ良

楊梅皮　丈山椒葉各等分一ツ

小麥粉　四匁

右粉ニメ玉子黄ニテ煉合如意膏ニメ付ル

○治淋病

蛭蜘黒　上茶

右細末ニ包数双白湯下妙也

○蒲黄散　血留ニモ良

蒲黄二両　人参一両

茸草少

右細末ニメ用フルイニハ水ニテ用

○魚骨咽ニ立時

九年母黒焼粉ニメ用

○萩竹末剌

牛蝿　蟷螂　ニモ

○イボ落方

アサトリ（秋ニノルグミノ木ノ）木葉ニ剌ニ藥ヲ付ヲ洗其後落也

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

(ウ) 筱竹末簽刺　為膏塗之即出
和白歛

(ウ) 霜燒ノ葉
乾薑 五分　潰石一分　黄連 五分
石蘇油ニテ煉リ可付玉子ノ白味ニテ付ル
モ良

○ 赤蕺 妙葉
苦楝根　酢ニテ付ル

○ 葉灸法
人參　沉香　黄丹各ホ分

(ウ) 治癬瘡
硫黄　大黄
細末和酢攪患所

(ウ) 亦方
枇杷葉 葵ニテ其汁ニテ洗ヘシ

○ 癤癰ヌキ葉
丹丸中　山葉 同　巴豆小
右ヤマノイモヲ生ニテヨロシ葉ヲ煉リアザノマワリヲハリニテツキヤフルヒ付ル

○ 亂毒葉　並河文助傳

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用

空木　貝母　蓮房　菖蒲

蒲根

右細末白湯ニテ用下又

田螺妙方

貝母　末メ酢ニテ付ル奇妙也

血止紙

蒲黄　十匁　煙草ノ葉上同

右ワタ一匁

右水一升五合入七合ニ煮絞ニテコシ奉書紙

ニ清天ニ七遍程引

右細末以熟艾包之為灸矣

○治體氣

丁子二匁　蜜陀僧一匁

丹丸一匁　輕粉一匁半

右細末擦

○青袋散　治齒痛齒齦出膿水不止

青袋　梧桐淚

芦薈各半両　胡黄蓮

丁香

右細末半匁傳於患所

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152　　ガラス使用

○治痔瘻方

雷丸十二枚實半　水金五分

山椒　胡桃實半ヲ

右分ヲ、ロ已後ニ明礬ノ末三枚五分入合明礬ノ

入ル時ハヨモイ不合綿ニ包両半ニモム七日ニ吉

○亦方

大風子去二十五粒皮　雷丸油一両

水銀一粒　胡桃肉五粒

樟腦一両

右合包綿攪之　硫黄一粒

○喉脾ノ薬

赤蜻蛉陰干黒焼　昆布黒焼

右末分ニメ管ニテ吹入ル

○一方　血止

槲目粉ニメ茶ニ服程湯ニ拌又大ニ血走出ル

香薷効有

○亦方　同

○亦方　同

卯ノ花陰干ニメ舌上ニ落

○亦方　同

蒲黄一味香色ニ炒干患上ニ捺

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152

ガラス使用

特1
2152

○赤方　同
石灰ヲ炒テ玉子白ニテ和ニ丸メ彈子ノ大サニ
メ炭火ヲ焼紅抹メ捻世源氏薄色トモアリ

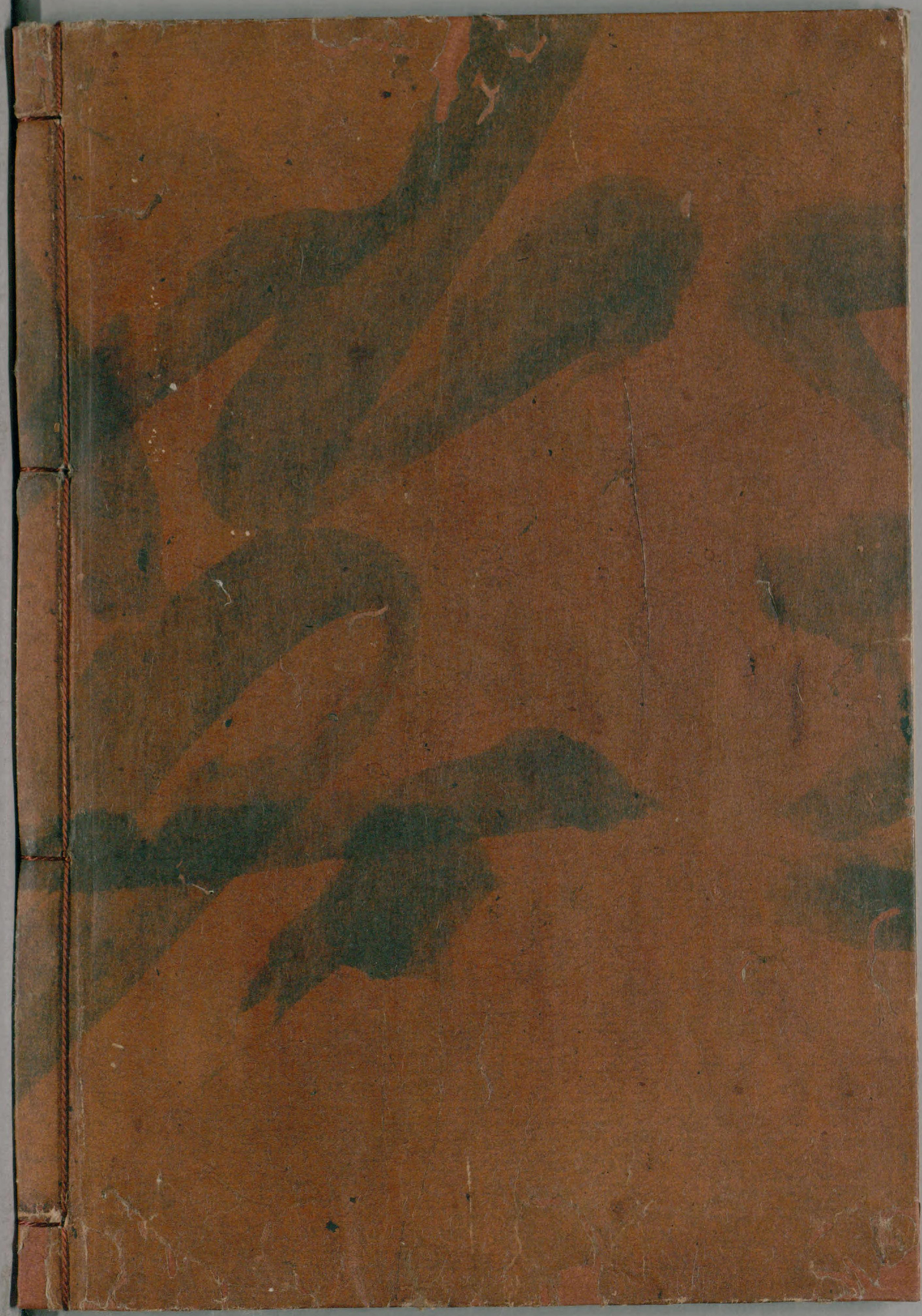
○赤方　同
明礬一匁　丹九
二味水煎ニ紙ニ乾テ刻ニテ用之

○紅毛血止薬
罌ノ赤鴉爛ニ石灰入カタメ乾ニ雨露ニサラシ三十日計取納前用ナリ

武人荘家

雙松葊藏書

国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』　請求記号 特1-2152
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『阿蘭陀流秘伝』 請求記号 特1-2152

ガラス使用